

《募集要領》

- 応募資格／中学生の部：愛知県内に在住または通学している中学生
高校生：愛知県内に在住または通学している高校生
- 表現内容／内容は、「エイズの予防」または「エイズ患者・HIV感染者に対する理解と支援」を爽やかに呼びかけるものとします。なお、**ポスターには、この趣旨にそった言葉を入れてください。**

例：「心配になったら、早く受けよう HIV 検査」, 「感染不安があるなら、まずは保健所の無料匿名 HIV 検査」, 「エイズは予防できる病気です」, 「HIV の早期治療はエイズからあなたや大切な人も守ります」, 「AIDS IS NOT OVER」, 「あなたを守るのはエイズの正しい知識」, 「AIDS…いま必要なのはあなたの愛と勇気です」, 「エイズ予防強化週間」

※標語として「STOP AIDS」を単独で使用することはエイズ患者・HIV 感染者の方に否定的な印象を与えるため、望ましくありません。

- 応募規格／サイズは、JIS規格B3判又は四つ切り画用紙大とし、紙質、色数、絵の具など材料の制限はしません。また、既存のキャラクターは使用しないでください。
- 応募規定／応募作品は未発表のものに限り、入賞作品の著作権は主催者に帰属します。また、応募作品は原則として返却いたしません。一作品ごとに**裏面に氏名（ふりがな）、年齢、学校名、学校所在地、学校電話番号、学年・学級等を記載した様式1を貼付し、愛知県保健医療局感染症対策課又はお近くの県保健所へ郵送又は持参してください。コンクールの詳細、標語の例示、申込用紙は以下のウェブページ又は二次元コードから確認できます。**
(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kansen-taisaku/0000097465.html>)
- 締切／【郵送】2026年8月28日（金）（当日消印有効）
【保健所へ直接持込】2026年8月28日（金）
- 賞／【一席】中・高校生の部 各1点 各2点
【二席】中・高校生の部 各1点 各2点
【三席】中・高校生の部 各3点 各数点
【佳作】中・高校生の部 各数点
- 審査員／佐藤 直樹（愛知県立芸術大学教授） 金子 典代（名古屋市立大学教授）
（予定） 村田 直哉（名古屋造形大学教授） 伊與田 賢（愛知県教育委員会教育部保健体育課課長）
石田 敏彦（ANGEL LIFE MAGOYA 代表） 山本 誓也（愛知県保健医療局感染症対策担当課長）
山本 誓也（愛知県保健医療局感染症対策課）
- 入賞の通知／入賞者には在学する学校を通じて11月中旬に連絡します。そのため、個人で応募した生徒は、在学する学校に応募した旨を報告してください。（入賞者以外には連絡しません。）
- その他／入賞作品は「エイズ予防啓発イベント」等で展示するほか、県が作成するリーフレット等での使用を予定しています。 **※入賞者には賞状と記念品（図書カード）を贈呈します。**

（応募先一覧）

名称	郵便番号	住所	電話番号
愛知県保健医療局 感染症対策課	460-8501	名古屋市中区三の丸三丁目1-2	052-954-6626
瀬戸保健所	489-0808	瀬戸市見付町38-1	0561-82-2197
春日井保健所	486-0927	春日井市柏井町二丁目31	0568-31-2189
江南保健所	483-8146	江南市布袋下山町西80	0587-56-2157
清須保健所	452-0961	清須市春日振形129	052-401-2100
津島保健所	496-0038	津島市橋町四丁目50-2	0567-26-4137
半田保健所	475-0903	半田市出口町一丁目45-4	0569-21-3342
知多保健所	478-0001	知多市八幡字荒古後88-2	0562-32-6211
衣浦東部保健所	448-0857	刈谷市大手町一丁目12	0566-21-4778
西尾保健所	445-0073	西尾市寄町下田12	0563-56-5241
新城保健所	441-1326	新城市宇中野6-1	0536-22-2204
豊川保健所	442-0068	豊川市諏訪三丁目237	0533-86-3177

エイズ電話相談

「愛知」「エイズ」で検索！エイズのことは

愛知県エイズ情報センター アイチエイズインフォメーション

(052) 972-9200

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kansen-taisaku/aids-nettop.html>



リボンが人をむすぶ

エイズ予防啓発ポスターコンクール 作品募集

12月1日は「世界エイズデー」です

- ◆応募対象
愛知県内に在住または通学している中学・高校生
- ◆募集期間
2026年8月28日(必着) 応募方法は裏面をご覧ください
- ◆問合せ先
愛知県保健医療局感染症対策課 TEL: 052-954-6626
コンクールやエイズについての詳しい内容は中面・裏面をご覧ください



エイズはHIVというウイルスに感染して起こる病気で、正しい知識と予防が大切です。

レッドリボンは、あなたがエイズに関して偏見をもっていない「エイズと共に生きる人々を差別しない」というメッセージです。

◆エイズとは？

○エイズ(AIDS=Acquired Immunodeficiency Syndrome)：日本語にすると「後天性免疫不全症候群」といい、HIV（ヒト免疫不全ウイルス）というウイルスに感染して起こる病気です。

○HIVに感染してもすぐにエイズを発症するわけではなく、また、数週間以内に風邪に似た症状が出ることはありませんが、**無症状なことが多く、HIV検査を受けなければ感染しているかどうかは分かりません。**

○自覚症状のない時期（無症状態）が数年続き、さらに進行すると病気がたたか抵抗（免疫）が低下し、本来なら自分の力でおさええることのできる病気（カンジダ症、ニューモシス肺炎等）を発症するようになりま

す。ある一定期間自覚症状のない時期が続くことが特徴です。

○HIVの感染経路：感染経路は限られているので感染を予防することができます。

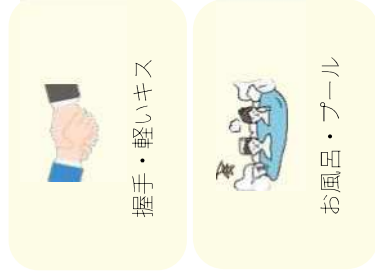
- ・性行為（異性間・同性間）による感染
- ・血液を介しての感染（注射器具の共用など）
- ・母親から赤ちゃんへの母子感染

○感染を防ぐには：感染経路で一番多いのは性行為（異性間・同性間）です。**性行為からの感染を防ぐには、コンドームを正しく使用することが大切です。**射精直前の着用やコンドームなしの膣外射精では効果はありません。

***ポイント（伝えたいメッセージ）**

- ・感染を予防するために、感染経路についてきちんと理解すること。また、どのような行動をとれば、感染を防ぐことができるのかを理解すること。
- ・一人ひとりがHIV/エイズについて正しい知識を持つことが大切。

◆こんなことでは感染しません



握手・軽いキス

咳・くしゃみ

汗

お風呂・プール

コップの回し飲み

タオルの共有

HIVは感染力が弱く、日常生活においては、性行為以外で感染することはありません。性行為でのHIV感染を防ぐためには、コンドームを使用することが重要です。

◆検査と治療について

○検査：HIV検査は、愛知県内の保健所等で「無料・匿名（名前を言わずに）」で受けることができます。

○治療：いまのところ、からだの中のHIVを完全にとりのぞく治療法はありません。ただし、医療の進歩によって、発症する前に治療を始めてきちんと服用すれば、発症を遅らせ、他の慢性疾患と同じように定期的に通院で、コントロールすることが可能になっています。つまり、早期発見、早期治療が重要です。

U=U(Undetectable=Untransmittable)：

治療を受け、血液中のウイルス量が検査で検出できない程度に最低6か月以上継続的に抑えられているHIV陽性者からは、性行為によってHIVが感染することはありません。この状態をU=U(Undetectable：検出限界値未満=Untransmittable：HIV感染しない)といいます。

***ポイント（伝えたいメッセージ）**

・「HIV検査は、保健所等で無料・匿名で受けることができる」という情報を知らない人が多い。みんなに知ってもらい、もっと活用してほしい。

・検査を受けることは、自分のためにも、相手のためにも大切なこと。自分のからだの状態を知ることが、自分ケアしていること。

・エイズを発症する前にHIVの陽性がわかり早く治療を始めると、免疫低下を防ぎエイズを発症せずに生活することができま

す。また、**エイズを発症していても治療でウイルス量が抑えられることができると、あなたの大切な人に**

性行為等で感染させるリスクがほぼなくなるということ。(U=U)

・感染していたとしても、さまざまな専門家やNGOが支えてくれ、一緒にHIV/エイズと向き合ってくれる。一人ではない。

◆世界と日本のエイズ／愛知県の現状

○国連合同エイズ計画 (UNAIDS) の発表によると、2024年末現在で約4,080万人のHIV感染者とエイズ患者が世界中でこの病気にたかっています。

○日本における2025年のHIV感染者及びエイズ患者の新規報告数（速報値）は890件です。前年に比べ減少したものの、今後の状況を注視していく必要があります。

○愛知県における2025年のHIV感染者及びエイズ患者の新規報告数は57名（速報値）で、近年は60名～80名前後で推移し、減少傾向となっています。年代別で見るとエイズ患者は40代が最も多く、HIV感染者は30代が最も多く報告されました。一方、HIVの感染に気づかないまま生活し、HIVの陽性がわかった時点ですでにエイズを発症している割合（いきなりエイズ）は30%台で推移しています。

***ポイント（伝えたいメッセージ）**

- ・日本では、1日当たり約3人の新たな感染が報告されていること。
- ・愛知県でも感染は続いています。

◆世界エイズデーとレッドリボンについて

○世界エイズデー：世界的レベルでのエイズまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消を図ることを目的として、12月1日が“World AIDS Day”（世界エイズデー）と定められました。この日を中心に世界各地でエイズ予防・支援のためのイベントなどが行われています。

○レッドリボン：“レッドリボン（赤いリボン）”は、エイズに関する理解と支援のシンボル

レッドリボン



マークです。レッドリボンは、あなたがエイズに関して偏見をもっていない、エイズと共に生きる人々を差別しないというメッセージです。このレッドリボンの意味を知り、レッドリボンを身につけることによって、エイズをみんなでも考えることが大切です。

***ポイント（伝えたいメッセージ）**

・「エイズは怖い」という誤った、過去のイメージからHIV感染者への偏見・差別はまだ根強く残っている。感染者・患者も周囲からの偏見・差別が怖く、なかなかまわりに本当のことを告げることができない。一人ひとりがHIV感染症とエイズを正しく理解し、この課題と向き合うことによって、偏見・差別が解消され、みんなが話し合える場をつくることができます。

・レッドリボンの意味を知り、レッドリボンを身につけることによって、エイズをみんなでも考えることが大切です。

◆HIVやエイズについての詳しい情報はこちらから

アイチエイズインフォメーション <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kansen-taisaku/aids-nettop.html>

